

RNase Inhibitor Recombinant type

Code : SIN-201, 229, 259

作成 : 2017年1月6日

改訂 : 2021年4月1日

整理番号: 1804A



安全データシート

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称	RNase Inhibitor Recombinant type
製品コード	SIN-201, 229, 259
供給者の会社名称	東洋紡株式会社
住所	大阪市北区堂島浜二丁目2番8号
担当部門	バイオプロダクト営業部
電話番号	06-6348-3786
FAX番号	06-6348-3833
推奨用途および使用上の制限	RNAの安定化 (研究用試薬)

2. 危険有害性の要約

重要危険有害性及び影響
有害性

通常の状態では人の健康に対する有害な影響は小さいが、有害性に関する調査が不十分なので、取り扱いには注意する。

GHS分類

物理化学的危険性 分類できない

人健康有害性
急性毒性(経口) 分類できない

皮膚腐食性・刺激性 区分3

眼に対する重篤な損傷・
眼刺激性 区分2B

環境有害性 分類できない

ラベル要素

RNase Inhibitor Recombinant type

絵表示又はシンボル: —

注意喚起語: 警告

危険有害性情報: 軽度の皮膚刺激、
眼刺激

注意書き:

安全対策(予防策) 取り扱い後はよく手を洗う。

応急措置(対応) 皮膚刺激が生じた場合、医師の診断、手当てを受ける。眼に入った場合、水で数分間注意深く洗う。次にコンタクトレンズを着用していて、容易に外せる場合は外す。その後も洗浄を続ける。眼の刺激が持続する場合は医師の診断、手当てを受ける。

RNase Inhibitor Recombinant type

Code : SIN-201, 229, 259

作成 : 2017年1月6日

改訂 : 2021年4月1日

整理番号: 1804A



安全データシート

3. 組成、成分情報

単一製品・混合物の区別	混合物	
化学特性	酵素、基質等の水溶液	
パーツ名	主要成分	CAS No. (EC No.)
RNase Inhibitor	HEPES	7365-45-9
Recombinant type	リボヌクレアーゼ阻害剤	-
	グリセロール	56-81-5
	塩化カリウム	7447-40-7
	ジチオスレイトール	3483-12-3
	ポリオキシエチレンソルビタンモノラウレート	9005-64-5

危険有害成分

化学名又は一般名	グリセロール
別名	グリセリン
含まれるパーツと含有量	50%
化学特性 (化学式)	CH ₂ OHCH(OH)CH ₂ OH
CAS番号	56-81-5
官報公示整理番号化審法:	2-242
安衛法:	公表

4. 応急措置

吸入した場合	直ちに新鮮な空気のある場所に移し、気分が悪くなった場合は医師の診断を受ける。
皮膚に付着した場合	多量の水で十分洗い流す。
眼に入った場合	眼に入った場合、水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて、容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。眼の刺激が持続する場合は医師の診断、手当てを受ける。
飲み込んだ場合	可能であれば吐き出させ、直ちに医師の手当てを受ける。

5. 火災時の措置

消火剤	水、二酸化炭素、泡消火剤、粉末消火剤
消火を行う者の保護	消火は風上から行う。 大規模な火災の場合は呼吸用保護具を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項	眼、皮膚への接触、吸入を避ける。
環境に対する注意事項	環境中に放出しない。
除去方法	ウェスなどに吸収させて密閉式の空容器に回収し、その後、大量の水で洗い流す。



安全データシート

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策

使用時は保護具を着用し、使用後は手をよく洗い、人体に接触しないよう十分に配慮する。

注意事項

眼、皮膚、衣服への接触を避け、取扱い後は充分洗浄する。

安全取扱い注意事項

取扱い場所を常に整理整頓し、清潔に保つ。

保管

適切な保管条件

密閉容器にて-20℃で保管する。

安全な容器包装材料

本製品に使用されている容器内で保管する。

8. 暴露防止及び保護措置

許容濃度

グリセロール

(ミスト)

設定されていない

日本産業衛生学会勧告値

ACGIH TLV

10mg/m³

OSHA PEL

total dust:

15mg/m³TWA

respirable fr.:

5mg/m³TWA

保護具

呼吸器の保護具

必要に応じてマスクを着用する。

手の保護具

ゴム手袋を着用する。

眼の保護具

保護眼鏡を着用する。

皮膚及び身体の保護具

必要に応じて保護衣等を着用する。

9. 物理的及び化学的性質

物理的状态、形状

-20℃以上で液体。

色、臭い

無色透明、ほとんど無臭

pH

7.0~9.0

引火点

水溶液のため引火性はないと考えられるが、水分蒸発後160℃の引火点を持つグリセロールが残留する。

爆発特性

常温では爆発性はない。

密度

1.0~1.2

溶解性

水に可溶

n-オクターノール/水分配係: グリセロール : Pow=-2.66

10. 安定性及び反応性

安定性

-20℃以下で安定

反応性

通常の条件下では安定である。

避けるべき条件

高温、直射日光、火災などによる強熱、強酸化剤、還元剤

危険有害な分解生成物

知見なし



安全データシート

1 1. 有害性情報

急性毒性	データなし。
局所効果	軽度の皮膚刺激、眼刺激を起こす可能性がある。
各成分の有害性情報	グリセロール
急性毒性 (LD50)	マウス経口 : 4090mg/kg ラット経口 : 12.6g/kg
皮膚腐食性・刺激性	区分3
眼に対する重篤な損傷・ 眼刺激性	区分2B
発癌性	
日本産業衛生学会勧告値	記載なし
ACGIH TLV	記載なし
OSHA PEL	記載なし

1 2. 環境影響情報

生態毒性	知見なし。
残留性・分解性	生分解性がある。
生態蓄積性	生態蓄積性はないと考えられる。
土壤中の移動度	水溶性あり、水系に拡散する。

1 3. 廃棄上の注意

残余廃棄物	少量であればペーパータオルやウエスに吸収させて焼却処分する。その施設・地域の廃棄規則に準じて、廃棄物処理専門業者に処理を依頼する。
汚染容器・包装	その施設・地域の廃棄規則に準じて廃棄する。

1 4. 輸送上の注意

国際規制	国連勧告の定義上の危険物に該当しない。
国内規制	輸送に関する法規制には該当しない。
輸送の特定の安全対策及び 条件	運搬に際しては容器に漏れのないことを確かめ、転倒、落下、損傷がないよう積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。-20℃以下で保存し、輸送する。

1 5. 適用法令

輸送に関する法規制は、14. 輸送上の注意の項参照。

	グリセロール
化審法 (特定、監視、優 先評価化学物質)	該当しない
消防法	危険物第4類引火性液体第 3石油類水溶性液体
欧州REACH規制	該当しない
海洋汚染防止法	該当しない
化学物質管理促進法	該当しない
指定化学物質 (政令番号)	
労働安全衛生法	該当しない
毒物劇物取締法	該当しない
毒物・劇物 (政令番号)	

RNase Inhibitor Recombinant type

Code : SIN-201, 229, 259

作成 : 2017年1月6日

改訂 : 2021年4月1日

整理番号: 1804A



安全データシート

16. その他の情報

参考文献

厚生労働省 職場のあんぜんサイト

NITE:独立行政法人 製品評価技術基盤機構 <http://www.nite.go.jp/>

制約事項

記載内容は現時点で入手できる資料、情報、データに基づいて作成しており、新しい知見により改訂されることがあります。また、注意事項は通常の取扱いを対象としたものですので、特別の取扱いをする場合は用途・用法に適した安全対策を実施の上、ご利用下さい。記載内容は情報提供を主目的とするものであって、保証するものではありません。